

公開・非公開の別

■ 公開 □ 部分公開

□ 非公開

令和4年度第2回浜松市景観審議会会議録

1 開催日時 令和4年11月8日(火) 午後3時00分から午後4時30分

2 開催場所 浜松市役所8階 第5委員会室

3 出席状況 浜松市景観審議会

会長 花澤 信太郎

委員 内山 隆之

委員 河原崎 直樹

委員 名久井 貴史

委員 浅見 佳世

委員 松下 ひとみ

事務局

土地政策課 課長 山田

副参事 八尋

課長補佐 山本

景観・広告グループ長 袴田

歴史まちづくりグループ長 戸田

緑政課 課長 廣野

緑地保全グループ長 武田

関係者

テイボー(株) 高柳

鈴木組 赤堀

(株)シーテック 滝沢 高村 松本

欠席委員 安藤 精彦 小浜 朋子 毛涯 梨恵 堀内 秀哲

4 傍聴者 0人(一般:0人、記者:2)

5 議事内容
・景観計画重点地区における特例措置の経過について(報告)
・風力発電施設の建設に伴う景観配慮について(意見聴取)

6 会議録作成者 土地政策課 景観・広告グループ 寺田

7 記録の方法 発言者の要点記録
録音の有無 有

8 会議記録

1 開会

2 議事

(1) 景観計画重点地区における特例措置の経過について

花澤会長

〔事務局の説明を求める〕

事務局（土地政策課）

〔説明〕

－質疑応答－

花澤会長

建物の色彩は、かなり詳細に決まっている気がしますが、これはもう現地で色々実際に確認されたりしましたか。

事務局

現地ではまだ当たっていないですけども、一応参考として、こういった色が自然とけ込みやすいということが示されておりますので、まずはそれを基本として、計画していただいたという形になります。

花澤会長

建築設計する時には、現場で色を合わせて、微妙なトーンとか、調整がしたいなというようなこともありますので、現場で色を合わせていただくことがいいかなと思います。その場に応じた、若干の微妙な調整が必要になるかもしれない、というご報告は必要になるかもしれない、したほうがいいかもしれない、という感想を持ちました。

事務局

ありがとうございます。

花澤会長

艶があると無いとかでも、結構違います。

浅見委員

増築後西立面図を見ると、法面のところに窓が三つあります。パースの方見ますと、窓に沿ってドウダンツツジがずっと植えていらっしゃいます。

ドウダンツツジの高さが60センチということで、窓からの採光が悪くなってしま

うのではないかと心配してしまうのですが、この辺は大丈夫でしょうか。

事務局

配置を考えながら、採光を含めて検討されていくものと考えます。

浅見委員

パースと若干違ってくるかもしれないということでしょうか。

事業者

そのとおりです。この辺については市と打ち合わせして、調整していきたいです。

花澤会長

ドウダンツツジというのは、比較的高くなるのでしょうか。

浅見委員

最大 1 メートルくらいだと思うのですが、すごく葉っぱがきれいなので、あまりに剪定してしまうとそのきれいな部分が見えなくなってしまいます。

花澤会長

そのあたりを含めて、調整をお願いします。

事務局

ありがとうございます。

(2) 風力発電施設の建設に伴う景観配慮について

花澤会長

〔事務局の説明を求める〕

事務局（土地政策課）及び事業者

〔説明〕

－質疑応答－

名久井委員

私はこの風力発電というものの前例などがわからないので、率直な感想として、景観に関連したお話をさせていただきたいです。28基を、色々な検討の結果、17基にされたということなのですが、28基が駄目で17基なら良いとなる。何を是として考えればいいのか、ちょっとわかりません。

ストレートな言い方をします。28基でもいいのではないかというのが、率直な感想です。

私もよくこの辺りはキャンプなどで行くのですが、今パンフレットでお写真を見せていただいたとおり、すごく山あいなので、一望できるところは竜頭山くらいでしょうが、普通ないですね。全部山の陰に隠れているので、街なかに建てるのとは違い、たくさんあって何か嫌だねと、というものではない。

そうすると、すごくストレートな言い方をしますが、17基に減らす意味はあるのかなど。もちろん、鳥や環境に影響を及ぼしてはいけないので、そういう意味で影響があるというのはわかるのですが、景観として減らす必要はあるかというのが、私の率直な感想です。

事業者

ありがとうございます。

私どもも、28基建てたいという気持ちはもともとありましたが、一方で電力会社と連系する送電線の容量というのは、上限が出てきています。

こちらの案件ですと61,200キロというのが冒頭に書いてあったとように、これ以上発電することができません。発電しても接続することができません。

他の環境負荷もあるけれど、なるべく開発面積を少なくしていくことが、景観も含めて、環境負荷を小さくできる。風力発電は環境によいと言われても、山を削り、土を動かすということがどうしても出て参りますので、少しでも環境負荷を少なくするために、最小限の基数にしたいということを考えています。

そうするとどうするかというと、連系できる容量の中で、単基出力を大きくし、風車を建設する基数を少なくできないかといったところを検討させていただきました。

それから、この地域で合計4本の観測施設を建てて、風況観測を3年ほど継続させていただいています。

そして、風力発電設備を設置する場所としてふさわしい場所とそうではない場所

の選別をしています。その結果を含めて、できるだけ開発規模を少なくし、かつ事業として成り立たなければならないものですから、連系できる容量いっぱいまで開発をしたいということで検討をさせていただいた結果が、今回 4,200 キロの風車を 17 基設置するという計画です。

こうすることで輸送する道路の改変も、最小限にできることから、総合的な環境負荷を少しでも小さくするというところに、取り組みさせていただいております。

名久井委員

ありがとうございます。

花澤会長

Wind turbine design というキーワードで検索すると、比較的明るい色の風力発電の事例が出てきました。

今回、グレーか白というかなり広い範囲の色彩の話だと思うのですが、なぜこのように明るいのかと考えた時に、クリーンエネルギーのようなイメージがあるのかな、という印象があります。

逆に、灰色が暗くなってくると、大きく、暗い威圧感が出るかと思われれます。

今まで、他の場所でも設置されているということですので、可能であれば、そういう事例の中で、どういう色彩だと実際にどう見えるかという情報もいただけると、もう少し、具体的な話が出来ると思います。

予定を見ると、もう一度くらいお話しが出来ると思いますので、そういう部分の検討材料をいただけるよう、ご検討いただければと思います。

事業者

ありがとうございます。

他の事例でも、やはり皆様が色について非常に興味持っていただいているのが実情であります。

弊社も三重県の青山高原で 90 本を超える風車を持っていて、現在運転しています。そういうところの写真なども、準備をさせていただいていますし、特に静岡県様の審査会で、色について非常に細かく注視されているところであります。

今回は細かい色を出せませんでした。次の段階では、例えばマンセル値を使ってお話できるように、詰めさせていただければと思います。

最終的に評価書が出てくる段階で、ある程度形がまとまりますので、そこでまたご審議いただければと思います。色を塗るのは最後の方です。その間に、もう少し良い色があれば、ご教授いただければありがたいと思っています。よろしく願いいたします。

花澤会長

実際には色彩にも面積効果があるので、なかなか難しい部分はあるかもしれないですが、色々な情報の中から、なるべく想像して、話が出来ればと思います。

浅見委員

市の方に教えていただきたいです。

ガイドラインの抜粋のところに、建設等に当たっての調整で、専門家の意見聴取を
するとご説明いただきました。環境アセスメントの委員会は、別にあるという認識で
いいでしょうか。

事務局

環境影響審査会で色々ご審議をいただいております。

今回は景観という部分で、環境の中でもそういったお話はされていると思いますが、
浜松市には景観審議会があるので、景観という部分に関しては、景観審議会の意見を
参考とさせていただいて、それをもとに、事業計画を練っていただくという形で考え
ています。

浅見委員

わかりました。そうすると環境の、特に植生の方から申し上げることは少ないです
が、ここで話題になるのは中景より遠景の話が多いかなと思います。

それで、植物個体、例えば希少な植物がぽつぽつとあるぐらいでは全然景観に関係
してきませんが、例えば雑木林の中にある植物が一面に咲き乱れるとなるとそれは近
景として素晴らしい春の季節感を、味わえるということになりますので、もしそうい
ったものがあるのでしたら、それを情報として出していただいた方がわかりやすいか
なという気はしました。

事業者

今日はこの要約書しか用意してありませんが、そういったものも調べてあります。
貴重な動植物含めて、どこにどういう植物が点在しているのかというものを調べてい
ます。

今おっしゃられた話は、既に植物の先生ともお話をしていますので、その方からも
同じようなご意見をいただいております、そこは改変しないようにならないのかと
いった、ご指導もいただいております。

ご理解を深めていただくには、本書、1600 ページぐらいありますが、その中には、
調べたものがありまして、市にもお届けしてあります。希望であれば見ていただけれ
ばと思います。

事務局

要約書では 20 ページ。こちらに、植物系の色々な評価の状況が謳われていますが、
もう少し細かいことになれば、本当に厚い資料という形になりますけれどもその辺も
含めて環境審査会の方で、色々ご審議いただいております。

景観の中では近景での見え方も重要になって参りますので、その辺は、配置が確定
したところで色々ご相談させていただきたいと思っています。

この場所は、あまり一般の方が立ち入らないようなエリアだと確認をしており、直
近まで行って何かを見るといった場所ではありませんから、少し離れた位置からの景

観を重要視して、色々協議をさせていただいているところです。

当然、近くまで行けば、風車の存在もありますし、周りの植生も含めた見え方というところも、今後色々議論をさせていただければと思っております。

内山委員

相当大きなものを輸送するわけですが、この輸送用道路というのは相当樹木を伐採しなければならぬとか、色々な問題が出てくると思うのですけれども、その辺はどうなりますか。

事業者

この場所は、大体 90%くらいが国有林の土地でございます。

国有林の土地はすでに林業作業するための道路があり、その道路を一部使わせていただきながら、どうしても使えないところは新しく道路を作らせていただく計画をしています。

道路の規模としましては、林道一級と呼ばれている幅 4.5 メートルの道路を計画しているところでございます。これ以上大きな幅の道路は、山では許可されないということで、それで運べる機械があります。

道路を広く作るのではなく、なるべく狭く作って、開発面積を少なくするために、そういった機械で輸送する計画をしています。既存の道路があるところはなるべく使わせていただいて、新たに伐採するところは、限りなく少なくしたいという計画をしているところでございます。

内山委員

竜頭山のあたりは、結構きれいな林道があるので、そこら辺を山の中へ行く多くの人も求めています。それが街のような道路になってしまえば、問題になるのかなと思います。

事務局

そもそも設計本数が少なくなるというのは、改変も結果として少なくなるという効果が見込めるものと思っております。

花澤会長

ありがとうございます。

他に質疑が無いようですので、質疑をここまでにしたいと思います。いくつか質問、ご意見がありましたので、今後、それらについてご検討をお願いします。

今いただきました貴重なご意見につきましては、市及び事業者におかれましても、今後事業を進めるあたり、十分な検討のうえ、配慮なされるように、お願い申し上げます。

以上で本日予定されていた議事は全て終了いたしました。議事進行を事務局にお返しいたします。

5 閉会

<資料一覧>

- ・ 景観計画重点地区における特例措置の経過について（報告）
「景観計画重点地区における特例措置の経過について」資料
- ・ 風力発電施設の建設に伴う景観配慮について（意見聴取）
「風力発電施設の建設に伴う景観配慮について」資料
「(仮称) ウインドパーク天竜発電事業 環境影響評価準備書【要約書】」

9 会議録署名人

会 長 _____

委 員 _____